



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル
 コード番号 2183 URL <http://www.linical.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月5日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 秦野 和浩
 (氏名) 高橋 明宏

TEL 06-6150-2582

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	650	1.2	26	△64.8	25	△66.4	9	△77.7
23年3月期第1四半期	642	△6.8	76	△63.9	75	△63.9	43	△64.6

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 8百万円 (△81.0%) 23年3月期第1四半期 42百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	0.86	—
23年3月期第1四半期	3.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,509	666	44.2
23年3月期	1,561	784	50.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 666百万円 23年3月期 784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,406	11.8	264	19.4	262	18.4	152	19.5	13.36
通期	2,889	15.0	454	57.2	449	61.2	260	76.1	22.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	12,370,000 株	23年3月期	12,370,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	975,067 株	23年3月期	975,067 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	11,394,933 株	23年3月期1Q	12,345,000 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記資料には、本資料発表日現在の将来に関する見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実績の間には、今後様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災及び福島原発事故による被災地の甚大な被害に加え、災害後の自粛ムードや全国的な電力問題の影響により消費マインドが冷え込み、これらに起因して企業の生産活動が低下するなど、国内経済への影響は計り知れず、景気の先行きは予断を許さない状況で推移しております。

一方、医薬品業界におきましては、激しい国際競争の中で経営統合や合併等の再編が続いております。さらに、薬価基準の引き下げや後発品の普及促進等の薬剤費削減策の強化、主力製品の特許切れ問題及び世界的な新薬の承認審査の厳格化等により、ますます医薬品開発の競争は激化しております。

このような流れの中で、当社グループが属する医薬品開発業務受託（CRO）業界及び医薬品販売支援（CSO）業界は、医薬品開発のアウトソーシング化及び国際共同治験の増加を背景として、市場規模は緩やかに拡大しているものの、一方で、既存企業の規模拡大、事業譲渡、廃業などにより業界内の淘汰が進み、競争は激化しております。

このような状況の下、当社グループのCRO事業については、引き続き営業活動を強力に推進し新規案件の受託及び既存案件の増員の契約を締結したことにより、当第1四半期連結累計期間の収益に貢献いたしました。また、CSO事業については、少額ながら収益に貢献することとなりました。

しかしながら、利益面では、当社グループのモニタリング業務の高い品質を維持しつつ新規受託案件に対応するために、先行的に人員の確保及び教育を行った結果、前年同四半期を下回ることとなりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は650百万円（前年同四半期比1.2%増）、営業利益は26百万円（前年同四半期比64.8%減）、経常利益は25百万円（前年同四半期比66.4%減）、四半期純利益は9百万円（前年同四半期比77.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ51百万円減少し、1,509百万円（3.3%減）となりました。これは、主に現金及び預金の減少等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ65百万円増加し、842百万円（8.5%増）となりました。これは、主に短期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ117百万円減少し、666百万円（15.0%減）となりました。これは、主に配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より33百万円減少し、515百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は28百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益25百万円の計上及び売上債権の減少額25百万円があったものの、法人税等の支払額28百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は7百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出7百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は52百万円となりました。これは、主に短期借入金の純増減額83百万円があったものの、長期借入金の返済による支出7百万円及び配当金の支払による支出125百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

① 概要

当第1四半期連結累計期間において、当社の経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。引続き、当社グループは受託業務の選択と集中を推し進め、既存のCROとの差別化を図ることにより、順調に推移すると予測しております。

平成24年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、本年5月13日に発表いたしました内容に変更はございません。

② 受注残高の推移

弊社の受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から3年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

下表のとおり、平成23年3月期末の受注残高に比べ平成23年7月29日時点の受注残高は22.5%増加しておりますが、これは、既存の委受託契約を順調に消化し、受注残高の金額が売上高として計上されたものの、これを上回る受託案件の新規契約があったことによります。

当初の計画に従い、当第1四半期連結累計期間における人員の採用と教育は順調に進んでおり、今後も新規クライアントを含め大手製薬会社を中心とする受託業務の拡大を図り、成長性と安定性を確保してまいります。

表. 受注残高の推移

(単位：百万円)

	平成23年 3月期末 (A)	平成24年3月期		増減率(%) (B-A)/A
		第1四半期末	平成23年7月 29日時点 (B)	
受注残高	4,215	4,830	5,165	22.5
内訳	第一三共	869	1,435	65.1
	大塚製薬	1,346	1,305	△3.0
	武田薬品工業 グループ	1,185	1,042	△12.1
	その他	813	1,046	69.8

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	448,632	414,929
売掛金	616,844	591,481
有価証券	100,775	100,798
前払費用	27,993	51,096
繰延税金資産	30,338	14,471
立替金	39,593	41,105
その他	93	210
流動資産合計	1,264,270	1,214,094
固定資産		
有形固定資産	55,210	51,714
無形固定資産	1,160	1,888
投資その他の資産		
差入保証金	228,182	227,615
その他	12,209	14,273
投資その他の資産合計	240,391	241,889
固定資産合計	296,762	295,492
資産合計	1,561,033	1,509,586
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	83,000
1年内返済予定の長期借入金	30,000	30,000
未払金	67,771	71,800
未払費用	39,273	41,449
未払法人税等	32,675	4,644
未払消費税等	15,115	24,908
預り金	32,591	53,584
賞与引当金	61,074	31,999
リース債務	11,228	9,917
その他	718	8,778
流動負債合計	290,447	360,082
固定負債		
社債	350,000	350,000
長期借入金	107,500	100,000
リース債務	8,650	6,509
退職給付引当金	20,377	26,261
固定負債合計	486,527	482,770
負債合計	776,974	842,852

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
資本剰余金	73,000	73,000
利益剰余金	791,235	675,642
自己株式	△289,159	△289,159
株主資本合計	789,118	673,526
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,059	△6,792
その他の包括利益累計額合計	△5,059	△6,792
純資産合計	784,058	666,733
負債純資産合計	1,561,033	1,509,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	642,971	650,494
売上原価	409,355	460,307
売上総利益	233,616	190,186
販売費及び一般管理費	157,552	163,390
営業利益	76,063	26,796
営業外収益		
受取利息	42	32
為替差益	165	46
その他	5	—
営業外収益合計	214	79
営業外費用		
支払利息	367	1,379
営業外費用合計	367	1,379
経常利益	75,909	25,496
特別損失		
固定資産売却損	—	11
特別損失合計	—	11
税金等調整前四半期純利益	75,909	25,484
法人税、住民税及び事業税	15,911	2,302
法人税等調整額	16,292	13,430
法人税等合計	32,203	15,733
少数株主損益調整前四半期純利益	43,706	9,751
四半期純利益	43,706	9,751

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	43,706	9,751
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,563	△1,732
その他の包括利益合計	△1,563	△1,732
四半期包括利益	42,142	8,018
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,142	8,018

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	75,909	25,484
減価償却費	6,666	6,648
長期前払費用償却額	1,260	825
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△23,561	△29,074
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,432	5,884
受取利息及び受取配当金	△42	△32
支払利息	367	1,379
為替差損益 (△は益)	△165	△46
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	11
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,050	25,362
たな卸資産の増減額 (△は増加)	623	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△8,248	9,792
立替金の増減額 (△は増加)	△1,508	△1,511
前払費用の増減額 (△は増加)	△16,403	△22,786
未払金の増減額 (△は減少)	6,164	7,553
預り金の増減額 (△は減少)	22,930	20,992
その他	△1,267	8,354
小計	50,106	58,838
利息及び配当金の受取額	42	32
利息の支払額	△432	△2,342
法人税等の支払額	△98,245	△28,005
営業活動によるキャッシュ・フロー	△48,528	28,522
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,068	△7,692
有形固定資産の売却による収入	—	24
長期前払費用の取得による支出	△359	—
差入保証金の差入による支出	△314	—
差入保証金の回収による収入	100	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,642	△7,568
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	104,000	83,000
長期借入金の返済による支出	—	△7,500
配当金の支払額	△98,486	△125,344
リース債務の返済による支出	△3,358	△3,132
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,154	△52,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,397	△1,657
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△60,413	△33,679
現金及び現金同等物の期首残高	630,801	549,407
現金及び現金同等物の四半期末残高	570,387	515,728

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。